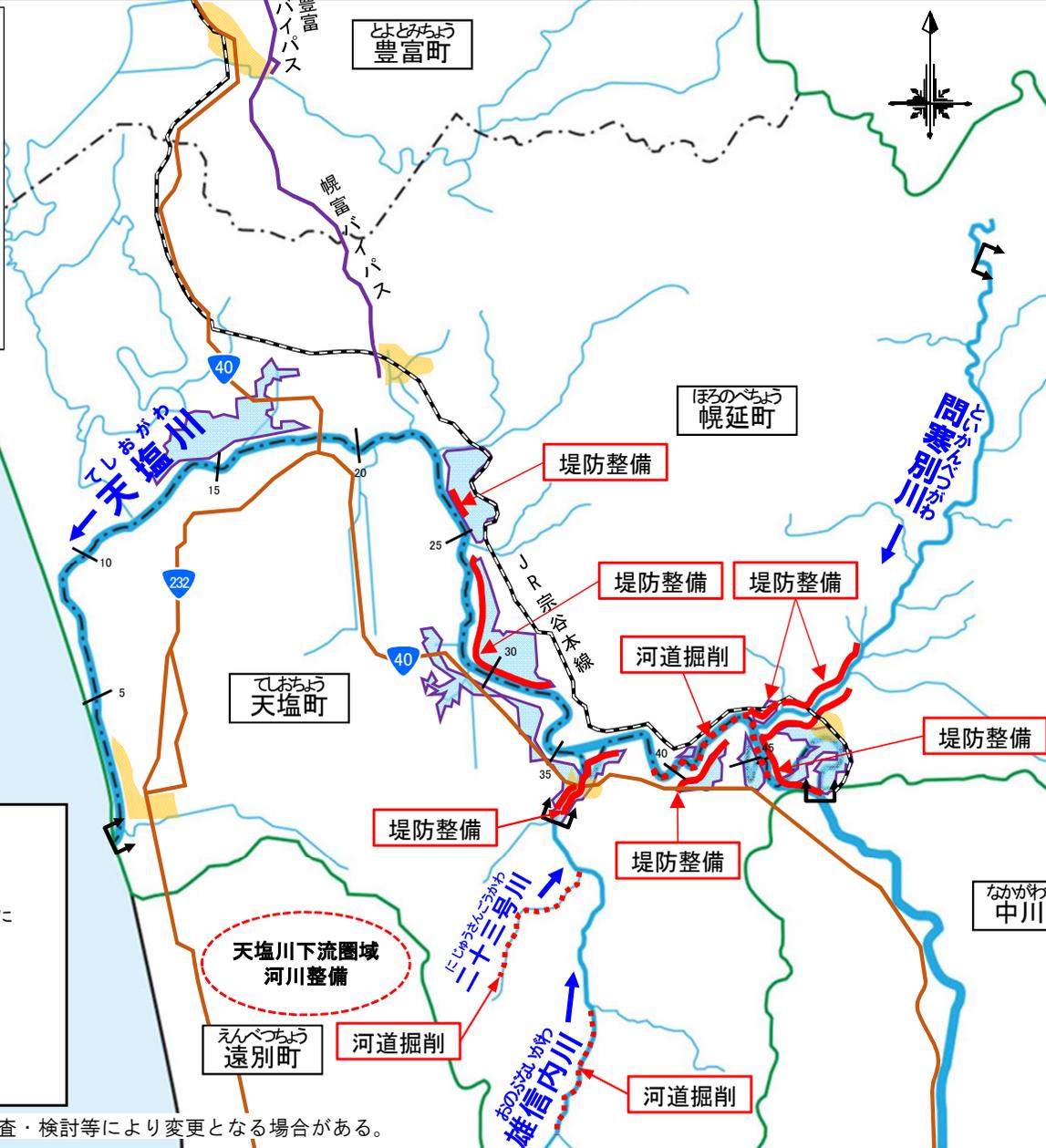


# 天塩川下流 流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）

第2回 天塩川下流流域治水協議会 会議資料

～国産バターの原材料から製造までの一手に担う天塩川下流域の地域産業を浸水被害から守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天塩川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、天塩川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■河川における対策  
対策内容 堤防整備、河道掘削 等

■流域における対策  
・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備  
・土地利用規制・誘導（災害危険区域等） 等  
・農業用排水施設及び農用地整備  
・排水作業準備計画の作成  
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策  
・水位計・監視カメラの設置  
・マイ・タイムラインの作成  
・防災情報伝達手段の整備検討、充実  
・水防意識啓発のための広報の充実  
・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施  
・防災教育等の実施  
※今後、関係機関と連携し対策検討

凡例

- 堤防整備
- 河道掘削
- 浸水想定範囲(戦後最大の昭和56年8月洪水に対する想定氾濫解析)
- 市街地
- 国道
- 高規格幹線道路
- JR線
- 大臣管理区間



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。